資料６－１

令和８年度　東京都発達障害者支援体制整備推進事業（専門的人材育成）
事　業　実　施　計　画　書

１　事業目的

(1)　区市町村の相談支援員やサービス提供事業者に対して、発達障害児（者）支援に必要な体系的・実践的な技術の習得に係る研修を実施することにより、区市町村における発達障害児（者）の支援体制整備を推進する。

(2)　医療機関や保健センター等の医療従事者に対して、発達障害児（者）への対応に係る講習会を実施することにより、発達障害に対応可能な医療機関の確保を図り、発達障害児（者）への支援を担う人材を育成する。

２　事業内容

(1)　発達障害者相談支援研修相談支援知識力向上研修

①　対象者

区市町村等の相談支援員、放課後等デイサービス、就労継続支援等の障害福祉サービス従事職員

②　実施規模

１５０名程度

③　内容

【研修のねらい】

ⅰ　障害特性や生きづらさに配慮し、本人の意思や思いに添った支援を行うために必要な知識を学ぶ。

・障害特性を知り、発達障害の基礎的知識を身につける
・TEACCH プログラムの考え方を学び、支援の専門性を高める。
・発達障害者(児)のコミュニケーションや構造化について学び実践力を高める。

ⅱ　発達障害についての基礎知識を身に着ける。

当事者への理解を深めるため、フォーマルアセスメントについて学び、実践に生かす。

・ASD、ADHD、LD 等の障害特性や支援方法を学び、家族や支援現場での実際の対応について考える
・PARS を使った事例から、現場の支援を学ぶ

ⅲ　発達障害者（児）支援に必要な専門領域について学ぶ

・障害当事者やその家族を中心にそこに関わるスタッフが総合的に支援を組み立て、支援ニーズに沿った支援計画に基づくチーム支援の実践に繋ぐ。
・作業療法士、心理士、言語聴覚士の視点から、家族や支援スタッフの連携の重要性について学ぶ。また各関係機関が相互に連携を取り、地域の中でのケース会議開催等の実践に繋げていく。

ⅳ　大人の発達障害及び発達障害者の相談支援について学ぶ

・大学において学生課、障害学生支援部署、就職支援部署（キャリアセンター）等

を使い、円滑に学生生活を送るための仕組みや支援について学ぶ。
・大学生活から就職、社会に出るまでのライフスキルなど、様々な学びや仲間とのコミュニケーションなど、学生への必要な支援について学ぶ。
・発達障害者の就労への取り組みの中で、学生生活から就労への移行期、就職後の定着支援、関係機関との連携の重要性等について学ぶ。
・日々の暮らしの中で発達障害者が抱えているニーズや課題に対応し、必要に応じて適切なサービス等に結び付けていくために、障害特性に配慮し総合的な相談支援を行うための方法や留意点を知ると共に、事例を通して実践について学ぶ。

【講義内容】

〈第 1 回〉 令和 8 年 10 月 3 日（土）
①発達障害の特性
②自閉症の人の支援

〈第 2 回〉 令和 8 年 10 月 31 日（土）
①構造化
②ASD のコミュニケーション支援

〈第 3 回〉 令和 8 年 11 月 14 日（土）
①発達障害・自閉スペクトラム症の支援～行動障害と ABA に基づいた支援～
②アセスメントツールの導入～現場での実践から～
③発達障害の相談支援

〈第 4 回〉 令和 8 年 12 月 5 日（土）
「それぞれの専門性を高める」
①作業療法士の視点から
②言語聴覚士及び心理士の視点から

〈第 5 回〉 令和 9 年 1 月 9 日（土）
①大人の発達障害～就労に向けての評価と実際～
②発達障害のある大学生～学生の自立と家族の支援～
③成人期デイケアにおける発達障害専門プログラム

(3)　医療機関等向け講習会

①　対象者

医療機関・保健センター等の医療従事者等

②　実施規模

１５０名程度

③　内容

【研修のねらい】

医療関係者の中で、発達障害という言葉は知られつつあるが、内容まで十分に把握されているとは言えない。発達障害への対応には診断が欠かせないが、専門性あるスタッフは少ないのが現実である。社会適応がうまく行かなければ二次的に精神症状が生じてくる。また、発達障害の支援においては、教育、就労、福祉、司法においても、医療が関与することは少なくない。これらを念頭に、医療従事者研修を企画した。

【講義内容】

〈第１回〉令和８年９月６日（日）

①　発達障害と気分障害

②　成人発達障害と医療

〈第２回〉令和８年９月 13 日（日）

①　発達障害と老年

②　発達障害と不登校

〈第３回〉令和８年 10 月 11 日（日）

①　発達障害と強度行動障害

②　発達障害と司法

〈第４回〉令和８年 10 月 18 日（日）

①　児童発達支援・放課後等デイサービスの支援
　　バイオサイコソーシャルモデルに基づくアセスメントをめぐって

②　発達障害と地域支援

〈第５回〉令和８年 11 月８日（日）

①　発達障害と教育

②　学習障害と言語の問題

〈第６回〉令和８年 12 月 20 日（日）

①　発達障害と行政

②　発達障害と当事者

【令和 8 年度　相談支援研修計画】

≪時間≫　入室許可だし 9：15　諸注意等 9：45

第 1,2 回：　①　9：50～11：20　　②　11：30～13：00

第 3,5 回：　①　9：50～11：20　　②　11：30～13：00　昼休憩：13：00～14：00　③　14：00～15：30

第 4 回：　①　9：50～11：20　　②　11：30～13：30

≪開催方法≫　web 開催（ZOOM ウェビナー）

	日程	定員		講義内容	講師	所属
第 1 回	10 月 3 日（土）	150 名	①	発達障害の特性	市川　宏伸氏	日本発達障害ネットワーク　理事長　他
			②	自閉症の人の支援	新井　豊吉氏	東京家政大学　子ども学部　子ども支援学科　特任教授
第 2 回	10 月 31 日（土）	150 名	①	構造化	安倍　陽子氏	川崎医療福祉大学　非常勤講師　公認心理師・臨床心理士
			②	ASD のコミュニケーション支援	諏訪　利明氏	川崎医療福祉大学　医療福祉学部 医療福祉学科　特任准教授
第 3 回	11 月 14 日（土）	150 名	①	発達障害・自閉スペクトラム症の支援 ～行動障害と ABA に基づいた支援～	井上　雅彦氏	鳥取大学　大学院医学系研究科　臨床心理学講座　教授
			②	アセスメントツールの導入 ～現場の実践から～	森　裕幸氏	埼玉学園大学　人間学部　心理学科　専任講師 公認心理師
			③	発達障害の相談支援	中山　正行	正夢の会レスポーいなぎ施設長　社会福祉士・公認心理師
第 4 回	12 月 5 日（土）	150 名	①	「それぞれの専門性を高める」 ～作業療法士の視点から～	酒井　康年氏	うめだ・あけぼの学園　作業療法士・学園長
			②	「それぞれの専門性を高める」 ～言語聴覚士及び心理士の視点から～	志村　みさと	正夢の会中野区療育センターゆめなりあ副施設長・言語聴覚士
					結城　綾	正夢の会レスポーいなぎ平尾主任・公認心理師
第 5 回	1 月 9 日（土）	150 名	①	大人の発達障害 ～就労に向けての評価と実際～	梅永　雄二氏	早稲田大学　教育学部　教育心理学専修　教授
			②	発達障害のある大学生 ～学生の自立と家族の支援～	五味　洋一氏	群馬大学 大学教育・学生支援機構 学生支援センター 障害学生支援室長　准教授
			③	成人期デイケアにおける発達障害専門プログラム	横井　英樹氏	昭和医科大学発達障害医療研究所、昭和医科大学烏山病院 臨床心理士・公認心理師・訪問型職場適応援助者

【令和 8 年度　医療機関等向け講習会計画】

≪時間≫　入室許可だし 9：15　諸注意等 9：45

①　9：50～11：20　　②　11：30～13：00　　90 分間（内、10 分程度の休憩あり）

≪開催方法≫　web 開催（ZOOM ウェビナー）

	日程	定員		講義内容	講師	所属
第 1 回	9 月 6 日（日）	150 名	①	発達障害と気分障害	桝屋　二郎氏	東京医科大学　精神医学分野　主任教授
			②	発達障害と不登校	市川　宏伸氏	日本自閉症協会　会長　他
第 2 回	9 月 13 日（日）	150 名	①	発達障害と老年	日詰　正文氏	国立重度知的障害者総合施設のぞみの園　総務企画局　研究･人材養成部　部長
			②	成人発達障害と医療	柏　淳氏	ハートクリニック横浜　院長
第 3 回	10 月 11 日（日）	150 名	①	発達障害と強度行動障害	會田　千重氏	独立行政法人　国立病院機構　肥前精神医療センター 副院長
			②	発達障害と司法	安藤　久美子氏	東京科学大学　保健管理センター　准教授
第 4 回	10 月 18 日（日）	150 名	①	児童発達支援･放課後等デイサービスの支援 バイオサイコソーシャルモデルに基づくアセスメントをめぐって	内山　登紀夫氏	よこはま発達グループ CEO　他
			②	発達障害と地域支援	本田　秀夫氏	信州大学　医学部　子どものこころの発達医学教室　教授
第 5 回	11 月 8 日（日）	150 名	①	発達障害と教育	星山　麻木氏	明星大学　教育学部　教育学科　教授
			②	学習障害と言語の問題	藤堂　栄子氏	NPO 法人 EDGE　会長
第 6 回	12 月 20 日（日）	150 名	①	発達障害と行政	菊地　章人氏	東京都福祉局　障害者医療担当部長
			②	発達障害と当事者	尾崎　ミオ氏	東京都自閉症協会　副理事長